

2013年度より本格的にCSR活動を進めてまいりました。そして、この度、2年間の活動を総括し、また2015年度の目標を下記にまとめました。この2年間、7つの中核主題別に31の重点課題に取組み、28項目において達成となりました。これは関係部局及び社員一人一人がCSR(=経営活動)に真摯に取り組んだ結果であると言えます。2015年度は未達成となった3項目について達成できるよう努力する事は勿論、新たな取り組みも加えていきます。特に、労働安全衛生分野においては、これまでの受動的な取組みを越えた先進的な取組みを行う事により、事業戦略の一環として企業価値の創造につなげていきたいと思っております。

1) 2013年度～2014年度のCSR活動の総括と2015年度以降の重点課題

2015年7月10日

凡例 ◎:達成 △:未達成

中核主題(ISO26000準拠)	●テーマ	◆重点課題	＝実施事項及び達成状況＝	評価	◆2015年度以降の重点課題
組織統治	CSRマネジメント	推進体制の整備	・CSR推進会議の整備 ・社内インフラ整備の推進	◎	推進体制の充実
	体制整備と社内への適時情報開示	企業統治体制の整備	・体制整備と規程策定・周知	◎	企業統治の徹底と推進
	ステークホルダーとのコミュニケーション	情報開示(HP等による情報の発信・共有)	・HPでの情報開示 ・社内イントラネットでの情報開示	◎	情報開示(HP等による情報の発信・共有)の推進 CSR活動結果の積極的開示
		ステークホルダーとのコミュニケーション	・全社員へのコミュニケーション実施 (経営計画発表会での経営方針の説明)	◎	各ステークホルダーとのコミュニケーション推進
人権	人権尊重・配慮	社員の意識調査(CSRアンケート)	・全社員を対象としたCSRアンケートの実施とフィードバック (2014年7～8月)	◎	社員の意識向上施策の実施(教育・研修)
		人権啓発に関する研修の実施	・同和問題フィールドワークへの参加(2014年12月4日)	△	人権啓発に関する研修への参加と社内への周知
		人権に配慮した採用・登用の実施	・人権に配慮した採用に関する社内規程の改定 ・公正採用選考人の選任及び研修への参加	◎	人権に配慮した採用・登用の実施
労働慣行	ワークライフバランスの推進	従業員相談窓口の設置	・社内通報相談規程の策定と社内相談通報窓口の設置 (2013年度)	◎	社員教育を通じた相談通報窓口の周知と浸透
		仕事と育児・介護の両立支援	・育児休暇取得者 2013年度3人 2014年度5人	◎	育児休暇取得者への支援プログラム推進
		フレキシブルな勤務体制の運用	・育児短時間勤務利用者 2013年6人 2014年6人 ・フレックスタイム制の導入	◎	フレキシブルな勤務体制の運用 フレックスタイム制の運用推進
		障害者雇用の推進	・2013年度障害者雇用率2.35% ・2014年度障害者雇用率1.88% (法定雇用率2%)	△	障害者雇用の推進
	労働安全衛生	年次有給休暇の取得推進	・2013年度 計画有給4日取得 ・2014年度 計画有給4日取得	◎	年次有給休暇の取得推進
		メンタルヘルスケア、健康増進対策の実施	・メンタルヘルス教育の実施(2015年3月5日) ・ウェアラブル端末の配布による健康増進	◎	メンタルヘルスケア、健康増進対策の実施 AED設置・産業医の積極的活用・定期的な面談の実施 健康データの解析と活用
		キャリア形成の支援	・若手技術者育成研修「大分ものづくり未来塾」への参加	△	キャリア形成の支援
人材の育成	教育・研修の実施	・人材育成体系の構築 ・導入教育、フォローアップ研修、3年目研修等の開催 ・ジュニアボード講座の実施等	◎	教育・研修の実施 (2015年度グローバル研修の実施等)	
	公正な評価・処遇	公正な評価・処遇の推進	・女性管理職登用、女性主任登用等公正な処遇の実施 ・人事制度改定	◎	公正な評価・処遇の推進 コミュニケーションを重視した人事制度の実践
環境	環境マネジメントシステム	ISO14001の推進	・温室効果ガス排出削減:2008年原単位対比▲15.3% ・社内各サイトでの環境目標の達成 ・エミッション率把握:8.94%	◎	ISO14001推進 ゼロエミッションの促進
		化学物質管理システムの構築	・化学物質管理のための環境規制ガイドライン作成	◎	化学物質管理システムの運用
公正な事業慣行	リスク・コンプライアンス	リスク・コンプライアンスマネジメントの徹底	・リスクコンプライアンス体制の整備 ・情報セキュリティ推進体制の構築	◎	リスク・コンプライアンスマネジメントの徹底
		事業継続計画の策定	・BCPIに基づく避難訓練、安否確認訓練の実施	◎	事業継続計画のリファインと教育実施 避難、安否確認訓練の継続 備蓄食料の設置
		コンプライアンス教育の実施	・コンプライアンス教育の実施 (2015年1月21日・23日半導体事業本部で実施)	◎	コンプライアンス教育の実施
	バリューチェーンにおけるCSRの推進	CSR調達の推進	・サプライヤー様へのCSRアンケートの実施	◎	CSR調達の推進、啓発の実施 紛争鉱物への対応
	情報セキュリティへの対応	ISO27001の取得	・ISO27001の認証取得(2014年4月11日) ・社内情報セキュリティ規程策定	◎	ISO27001の推進 全社情報セキュリティ体制の構築
	知的財産権の保護	行動規範の策定と周知	・コンプライアンス規程の策定と周知 ・顧問弁護士による知的財産セミナー開催	◎	行動規範の社内浸透 知財保護対策の強化
調達取引先との公正な取引	調達先へ当社CSRの協力依頼	・サプライヤーへのCSRアンケートの実施	◎	調達先へ当社CSRの協力依頼の実施	
消費者課題	品質管理	ISO9001の推進	・電気計測事業本部・メカトロ事業本部・半導体事業本部でのISO9001の維持継続	◎	ISO9001の推進 ISO-IEC17025(試験所認定)の取得
	お客様満足の向上	お客様満足の向上推進	・主要取引先企業からAランク評価を取得	◎	お客様満足の向上推進
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	地域社会への支援と係わり	地域の大学・研究機関との連携	・大分県産業創造機構、大分県LSIクラスター形成推進会議等参加及び会社見学会の実施	◎	地域の大学・研究機関との連携推進
		社会貢献活動	・本社周辺の清掃活動継続 ・献血実施	◎	社会貢献活動の推進
		地域社会とのコミュニケーション	・大分県・市主催行事への参加 ・メカトロ事業本部でのファミリーデー実施	◎	所属するコミュニティとのコミュニケーションとコミュニティ行事への参加
		教育・文化支援	・地域文化(鶴崎踊り)振興及び支援 ・インターシップ受け入れ(海外1校・国内1校) ・創意工夫功労者賞受賞	◎	教育・文化支援

2) CSR関連の外部評価

評価項目	●評価主体	＝内容＝	◆年度・備考	
表彰	大臣	文部科学大臣	創意工夫功労者賞	2014年度・2015年度 2年連続受賞
	企業	東京エレクトロン株式会社	優良企業賞	2014年度 九州より1社受賞
		東京エレクトロン九州株式会社	優良企業賞	2013年度・2014年度 2年連続受賞(SPE事業)
		NECネットエスアイ株式会社	優秀作業責任者表彰	2014年度